

平成 29 年度 「基礎・基本」定着状況調査(小学校)

**国 語**

**平均通過率**

市 69.0%  
県 (68.0%)

※ ( ) 内は県平均  
を表します。

**領域等の定着状況**

<タイプⅠ 基本問題>

【タイプⅠ】 72.0% (71.5%)

【聞 く こ と】 82.9% (83.1%)

【書 く こ と】 70.3% (65.6%)

【読 む こ と】 49.3% (53.1%)

【伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項】 77.4% (77.0%)

<タイプⅡ 活用問題>

【タイプⅡ】 55.4% (52.4%)

○タイプⅠ (基本問題)

**通過率 60%以上の設問(上位3問)**

- 第2学年, 第3学年の漢字の読み  
(設問三2③) 91.3% (92.6%)
- 聞き方の工夫  
(設問一2) 91.3% (86.7%)
- 第2学年の漢字の書き  
(設問三2②) 89.1% (87.9%)

**通過率 60%未満の設問**

- 叙述を基にした想像  
(設問三5(2)) 35.5% (35.9%)
- 叙述を基にした想像  
(設問三5(1)) 37.0% (40.4%)
- 文章の構成  
(設問四1) 55.8% (54.5%)

○タイプⅡ (活用問題)

**通過率 60%以上の設問**

- 情報の収集  
(設問五1) 83.3% (82.8%)

**通過率 60%未満の設問**

- 情報の取り出し・情報を関係付けた記述  
(設問五3記述) 37.0% (32.8%)
- 情報の取り出し  
(設問五2) 42.0% (43.4%)
- 文章の構成  
(設問五3構成) 59.4% (50.8%)

**結果からいえること**

○考察

平均通過率が60%を超え、県の平均通過率より1.0ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、「書くこと」、「読むこと」に関する指導です。中心となる語や文を捉え、文と文の意味のつながりや段落相互の関係を考えて読ませる指導を充実させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、複数の資料から必要な情報を取り出させ、それらに関連付けて自分の考えを書かせたり、論理的に説明させたりする指導を充実させる必要があります。

## 平成 29 年度「基礎・基本」定着状況調査(小学校)

## 算 数

## 平均通過率

市 77.6%

県 (74.3%)

※ ( ) 内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 80.1% (77.1%)

【数と計算】 90.3% (88.4%)

【量と測定】 74.8% (73.4%)

【図形】 68.8% (63.4%)

【数量関係】 71.6% (65.8%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 69.6% (65.4%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 3位数+3位数  
(設問1(1)) 97.8% (94.8%)
- 3位数÷2位数  
(設問1(4)) 96.4% (91.8%)
- 小数の減法  
(設問1(5)) 95.0% (90.7%)

## 通過率 60%未満の設問

- 平行四辺形の判断  
(設問7) 51.1% (48.3%)
- 一つの式で表す  
(設問9) 58.3% (57.0%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 伴って変わる数量  
(設問11(1)) 87.1% (81.8%)
- 解決方法の解釈と適用  
(設問11(2)) 84.9% (79.8%)
- 目的に応じた計算結果の見積もり  
(設問10(1)) 84.2% (86.3%)

## 通過率 60%未満の設問

- 二つの折れ線グラフの関連付け  
(設問10(2)) 33.1% (30.7%)
- 事象の解釈と根拠の説明  
(設問11(3)) 59.0% (48.1%)

## ○考察

平均通過率が60%を超え、県の平均通過率より3.3ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後、取り組む必要があるのは、「図形」に関する指導です。作図をする際に、図形の約束や性質と結びつけ、図形の理解を深めさせる指導を充実させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、複数のグラフを関連付けて特徴や傾向を読み取らせる指導を充実させる必要があります。

## 平成 29 年度「基礎・基本」定着状況調査(小学校)

## 理科

## 平均通過率

市 64.8%  
県 (61.7%)

※( )内は県平均  
を表します。

## 領域等の定着状況

## &lt;タイプⅠ 基本問題&gt;

【タイプⅠ】 73.0% (70.4%)

【生命】 70.4% (69.6%)

【エネルギー】 67.6% (61.0%)

【地球】 65.6% (63.7%)

【物質】 54.7% (51.1%)

## &lt;タイプⅡ 活用問題&gt;

【タイプⅡ】 54.8% (51.0%)

## ○タイプⅠ (基本問題)

## 通過率 60%以上の設問(上位3問)

- 温度の正しいはかり方  
(設問6(1)) 95.0% (95.9%)
- 虫眼鏡による光の道筋  
(設問3(2)) 92.8% (88.7%)
- 渡り鳥の越冬  
(設問6(3)) 87.1% (90.3%)

## 通過率 60%未満の設問

- 虫眼鏡の使い方  
(設問5(1)) 39.6% (37.8%)
- 並列つなぎの回路のつなぎ方  
(設問4(1)) 55.4% (51.7%)
- 生物のすみか  
(設問5(3)) 59.7% (55.6%)

## ○タイプⅡ (活用問題)

## 通過率 60%以上の設問

- 光電池の特徴  
(設問4(3)) 74.8% (71.4%)
- 植物のなかま分け  
(設問5(2)) 71.9% (66.4%)
- 季節ごとの動物の活動の様子  
(設問6(2)) 69.1% (71.9%)

## 通過率 60%未満の設問(下位3問)

- 適切な検査方法の選択  
(設問1(2)) 21.6% (10.4%)
- 予想の根拠  
(設問2(1)) 47.5% (45.1%)
- 太陽の位置と影の関係  
(設問7(2)) 47.5% (46.3%)

## 結果から考える

## ○考察

平均通過率が60%を超え、県の平均通過率より3.1ポイント上回っていることから、基礎的・基本的な学習内容はおおむね定着していると考えられます。

## ○今後の指導について

今後、自然に親しんだり、観察、実験を行ったりすることを通して、自然事象についての実感を伴った理解を深める指導を充実させる必要があります。

また、タイプⅡにおいて、科学的概念や用語を用いて、事実や根拠に基づいて考え、記述させたり説明させたりする指導を充実させる必要があります。